

# 三重の間伐材 中電で燃料に

## バイオマス利用月末実験

三重県と中部電力は、県産の間伐材で製造したチップを発電用の木質バイオマス燃料として使ったための実証試験に初めて乗り出す。三重県は年間一万トンの供給を目指しており、「山に放置されている間伐材を活用できれば利益を山に還元でき、林業の振興や間伐の促進につながる」と期待している。

中電碧南火力発電所(愛知県碧南市)は環境負荷の低減を目的に、二〇一〇年九月から、年間三十万トンの力ナタ産チップと石炭を燃料に発電している。このため三重県は県産チップの活用策を中電と検討。今回の実験では二十九日から三月四

日まで、スギ、ヒノキの県産チップ計五十トを使う。中電は、チップの細かさや燃焼性能などの品質を調査。安定供給できるかなども検討して判断する。県によると、チップを製造するのは県内の製材業者などでつくる「ウッドピア木質バイオマス利用協同組合」(三重県松阪市)。チップの原料となる間伐材の搬出に経費がかか

大半は放置  
**林業振興へ県支援**

る森林組合などを県が新年度から金銭面で支援し、ウッドピアが原料を安定確保できる仕組みをつくる。ウッドピアは年間一万トンのチップを製造し、中電に販売する計画だが、価格は未定。三重県によると、「

も結果的にCO<sub>2</sub>を増やしたことになるかもしれないとみなされ、環境に優しい資源とされる。全国で発電用や発電用に使われ、電力会社では中国電力などが国産チップを石炭と混ぜて発電に利用している。

# 中日新聞

発行所 中日新聞社

名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

創業大正元年  
のいり  
式典  
のいり

のいりへのお問い合わせは  
☎0120-24-0948

本社:愛知県一宮市本町3-7-4  
http://www.nichi.co.jp

中日新聞ホームページ

http://www.chunichi.co.jp/

中日新聞 検索

購読申し込みは

フリーダイヤル  
☎0120-454010

**木質バイオマス**  
バイオマスとは生物由来の資源で、建築

廃材や間伐材などを資源とするのが木質バイオマス。樹木は生育段階で二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収するので、チップとして燃やして

年間県内に出る間伐材は三十六万ト。大半が放置されているが、このうち九万ト程度は資源として利用できるという。鈴木英敬知事は「新エネルギー推進や林業振興にとって意義のある試みだ。中電への販売価格など課題もあるが、成功するよう取り組みたい」と話している。